

兵庫県産ホソカタムシ類のリスト

宇野 宏樹¹⁾*

A list of colydiid beetles of Hyogo Prefecture, Japan

Hiroki UNO¹⁾*

要 旨

ホソカタムシ類は、枯れた木などに生息する鞘翅目昆虫のグループである。最近の分類体系では、本グループは多系統とされ、ムキヒゲホソカタムシ科 Bothrideridae Erichson, 1845・ツツホソカタムシ科 Teredidae Seidlitz, 1888・アトコブゴミムシダマシ科 Zopheridae Solier, 1834 に散在し、複数の上科に所属している(青木, 2017)。ホソカタムシ類は兵庫県からも多くの記録があるが、兵庫県産のホソカタムシ類のみを取りまとめた種のリストはこれまで作成されてこなかった。本稿では、兵庫県のホソカタムシ相を調べるため、文献調査及びデータの収集を行った。今回、その結果をまとめて報告する。兵庫県では、カクホソカタムシ科 Cerylonidae Billberg, 1820・アトコブゴミムシダマシ属 *Phellopsis* LeConte, 1862・ヨコミゾコブゴミムシダマシ属 *Usechus* Motschulsky, 1845・タマムシモドキ属 *Monomma* Klug, 1833 を除いて数えると、少なくとも計 28 種のホソカタムシ類の記録が確認された。その内訳は、ムキヒゲホソカタムシ科 3 種・ツツホソカタムシ科 2 種・アトコブゴミムシダマシ科 23 種であった。

キーワード: アトコブゴミムシダマシ科, 種リスト, ツツホソカタムシ科, 兵庫県, ホソカタムシ類, ムキヒゲホソカタムシ科。

(2024 年 7 月 8 日受付, 2024 年 10 月 4 日受理, 2025 年 1 月 31 日発行)

はじめに

ホソカタムシ類は、かつてはホソカタムシ科 Colydiidae という単系統群としてまとめられていたグループである(青木, 2013)。その後本グループは分類体系の変更が進み、カクホソカタムシ科 Cerylonidae が分離されたほか、近年では残りの「旧ホソカタムシ科」は多系統とされ、ムキヒゲホソカタムシ科 Bothrideridae、ツツホソカタムシ科 Teredidae、アトコブゴミムシダマシ科 Zopheridae に散在している(中根, 1956; 佐々治, 1985; 青木, 2017)。これらのグループは、主に青木淳一氏らによって体系的な研究が進められたが、小型で顕微鏡を覗かなければ種類が分かりにくいこともあり、他の分類群と同様に研究が進んでいない部分がある。筆者は、ホソカタムシ類の主に分布調査を進める一助として、兵庫県産のホソカタムシ類の記録を取りまとめることにした。本報告で「ホソカタムシ類」として扱うのは、『ホソカ

タムシの誘惑 第 2 版-日本産ホソカタムシ全種の図説』(青木, 2013)に掲載されている種である。前述のとおり、「旧ホソカタムシ科」は多系統群であり、現在複数の分類群に散在しているが、青木淳一氏の研究など、近年のこれらのグループの研究は、カクホソカタムシ科を除いた「旧ホソカタムシ科」を基準として進められていることが少なくないため、本報告でもその扱いに従った。なお、カクホソカタムシ科については青木(2013)をはじめとして、近年はホソカタムシ類として扱われていないことが多いので、本報告では扱わなかった。また、アトコブゴミムシダマシ科に含まれる属であるアトコブゴミムシダマシ属 *Phellopsis* LeConte, 1862・ヨコミゾコブゴミムシダマシ属 *Usechus* Motschulsky, 1845・タマムシモドキ属 *Monomma* Klug, 1833 についても、青木(2013)では掲載されていないため、本報告では扱わなかった。

¹⁾ 大阪府池田市

* Corresponding author. E-mail: humail202408 @ gmail.com

兵庫県産ホソカタムシ類のリスト

兵庫県で確認されたホソカタムシ類の記録について、本項でリスト化しておきたい。なお、本リストにおいてホソカタムシの掲載順序は基本的に青木(2013)に従った。

A. 兵庫県で確認されているホソカタムシ類

●ムキヒゲホソカタムシ科 Bothrideridae Erichson, 1845

1. サビマダラオオホソカタムシ *Dastarcus longulus* Sharp, 1885
兵庫県 (青木, 2013); 宝塚市 (宇野, 2021; 宝塚市, 1993); 上郡町 (大貝, 2018); 川西市 (独立行政法人森林総合研究所, 2007; 仲田, 1982).
2. ヒゴホソカタムシ *Sosylus gracilis* (Sharp 1885)
宝塚市 (齋藤, 2016).
3. イノウエホソカタムシ *Antibothrus morimotoi* Sasaji, 1997
兵庫県 (青木, 2012, 2013); Hyōgo (Aoki, 2009); 兵庫県赤西 (青木, 2009a); 波賀町 (生川・田中, 2004; 青木, 2009b).

●ツツホソカタムシ科 Teredidae Seidlitz, 1888

1. アトキツツホソカタムシ *Teredolaemus guttatus* Sharp, 1885
宝塚市 (宇野, 2021).
2. クロツヤツツホソカタムシ *Teredolaemus politus* (Lewis, 1879)
波賀町 (内藤, 2002a).

●アトコブゴミシダマシ科 Zopheridae Solier, 1834

1. ツヤナガヒラタホソカタムシ *Pycnomerus vilis* Sharp, 1885
宝塚市 (宇野, 2021; 宝塚市, 1993); 姫路市 (檀野, 2022); 猪名川町 (仲田, 1982); 川西市 (仲田, 1979a, 1982); 多可郡中町 (松尾, 2003); 氷上郡 (山本, 1958); 三田市 (吉田, 2007).
2. アバタツヤナガヒラタホソカタムシ *Pycnomerus sculpturatus* Sharp, 1885
兵庫県 (青木, 2013); 淡路島 (青木, 2009b, 2012).
3. ツチホソカタムシ *Pycnomerus yoshidai* Aoki, 2011
宝塚市 (齋藤, 2018); 猪名川町 (齋藤, 2018); 川西市 (齋藤, 2018).
4. ルイスホソカタムシ *Gempylodes ornamentalis* (Reitter, 1878)
宝塚市 (宇野, 2021).
5. ノコギリホソカタムシ *Endophloeus serratus* Sharp, 1885
宝塚市 (宇野, 2021; 宝塚市, 1993); 猪名川町 (高橋, 1981); 川西市 (高橋, 1981; 仲田, 1982); 扇ノ山 (高橋, 1981); 大河内町 (八木ほか, 2003); 氷ノ山 (岩田ほか, 1953); 新宮町 (新宮町自然調査団, 1999); 南淡町 (内藤, 2002b).
6. ナガセスジホソカタムシ *Bitoma sicca* (Pascoe, 1863)
兵庫県 (青木, 2013); 宝塚市 (宇野, 2021).
7. ヒメユミセスジホソカタムシ *Lasconotus niponius* (Lewis,

1879)

- 猪名川町 (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信).
8. オカダユミセスジホソカタムシ *Lasconotus okadai* Aoki, 2011
波賀町 (田中 勇氏, 私信; 杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信).
 9. ツヤケシヒメホソカタムシ *Microprius opacus* (Sharp, 1885)
兵庫県 (青木, 2013); 宝塚市 (宇野, 2021, 2022); 上郡町 (大貝, 2018); 姫路市 (檀野, 2022); 川西市 (仲田, 1979a, 1982); 西宮市 (青木, 2009b); 猪名川町 (青木, 2009b).
 10. サシゲホソカタムシ *Neotrichus hispidus* Sharp, 1885
兵庫県 (青木, 2013); 波賀町 (内藤, 2000, 2002a).
 11. ヒサゴホソカタムシ *Glyphocryptus brevicollis* Sharp, 1885
宝塚市 (宝塚市, 1994; 宇野, 2021); 篠山市 (内藤, 2000); 淡路島 (青木, 2013); 南淡町 (内藤, 2002b).
 12. マメヒラタホソカタムシ *Acolophus debilis* Sharp, 1885
宝塚市 (宝塚市, 1993).
 13. オニヒラタホソカタムシ *Bolcocius granulatus* (Sharp, 1885)
兵庫県 (青木, 2012, 2013), 波賀町 (田中 勇氏, 私信; 青木, 2009b).
 14. ヒラタホソカタムシ *Colobicus hirtus* (Rossi, 1790)
加美町 (兵庫昆虫同好会事務局, 2001).
 15. クロヒメヒラタホソカタムシ *Synchita tokarensis* (Nakane, 1967)
猪名川町 (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信); 南淡町 (田中 勇氏, 私信).
 16. メダカヒメヒラタホソカタムシ *Synchita oculata* (Sharp, 1885)
猪名川町付近(※) (田中 勇氏, 私信); 猪名川町 (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信); 川西市 (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信).
 17. クロモンヒメヒラタホソカタムシ *Synchita nivea* (Sharp, 1885)
兵庫県 (青木, 2013); 猪名川町 (青木, 2009b); 和田山町 (青木, 2009b).
 18. ヨコモモンヒメヒラタホソカタムシ *Synchita bitomoides* (Sharp, 1885)
兵庫県 (青木, 2012, 2013); 川西市 (仲田, 1979b, 1982; 青木, 2009b); 神戸市 (青木, 2009b); 豊岡市 (青木, 2009b).
 19. ベニモンヒメヒラタホソカタムシ *Synchita rufosignata* (Sasaji, 1971)
宝塚市 (宇野, 2021).
 20. チビヒメヒラタホソカタムシ *Synchita minima* (Sharp, 1885)
川西市 (齋藤, 2017).
 21. ハヤシヒメヒラタホソカタムシ *Synchita hayashii* (Sasaji, 1971)

兵庫県本土域 (青木, 2013); 淡路島 (青木, 2012, 2013); 淡路市 (青木, 2009b).

22. ホソマダラホソカタムシ *Namunaria picta* (Sharp, 1885)
兵庫県 (青木, 2013); 宝塚市 (宝塚市, 1994); 神戸市 (高橋, 1994); 南淡町 (内藤, 2002b).
23. マダラホソカタムシ *Trachypholis variegata* (Sharp, 1885)
兵庫県 (青木, 2013).

※メダカヒメヒラタホソカタムシの記録について、田中氏からいただいたデータでは「兵庫県川辺郡猪名川町妙見山上杉尾根」とされていたが、正確には妙見山は猪名川町に位置しないので、「付近」と表記した。なお、上杉尾根は大阪府と兵庫県の境界に近い場所である。

B. その他、未記載のホソカタムシ類の記録

- アトコブゴミムシダマシ科 Zopheridae Solier, 1834
- 1. ヒメヒラタホソカタムシの1種 *Cicones* sp.
神戸市 (内藤, 2002a).

C. 兵庫県初記録と思われるホソカタムシ類

文献に記録が見つからず、情報源が私信のみのホソカタムシ類は以下の4種であった。この4種については、今後の調査の参考、および情報の蓄積のため、採集地・採集日を書き留める。これらの4種は、兵庫県初記録の可能性はある。

- アトコブゴミムシダマシ科 Zopheridae Solier, 1834
- ヒメユミセスジホソカタムシ *Lasconotus niponius* (Lewis, 1879)
兵庫県猪名川町大野山, 30. V. 2020. (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信)
- オカダユミセスジホソカタムシ *Lasconotus okadai* Aoki, 2011
兵庫県宍粟郡波賀町音水, 採集日時不明. (田中 勇氏, 私信)
兵庫県宍粟郡波賀町音水溪谷, 4. VIII. 2017. (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信)
- クロヒメヒラタホソカタムシ *Synchita tokarensis* (Nakane, 1967)
兵庫県猪名川町広根(多田銀山), 8. VIII. 2023. (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信)
兵庫県三原郡南淡町論鶴羽山, 採集日時不明. (田中 勇氏, 私信)
- メダカヒメヒラタホソカタムシ *Synchita oculata* (Sharp, 1885)
兵庫県川西市赤松(岩根山), 10. X. 2016. (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信)
兵庫県川西市黒川(妙見山), 3. XI. 2019. (杉本眞次氏 採集・齋藤琢巳氏, 私信)
兵庫県猪名川町大野山, 30. VIII. 2018. (杉本眞次氏 採

集・齋藤琢巳氏, 私信)
兵庫県川辺郡猪名川町付近妙見山上杉尾根(※), 28. X. 2018. (田中 勇氏, 私信)

※田中氏からいただいたデータでは「兵庫県川辺郡猪名川町妙見山上杉尾根」とされていたが、正確には妙見山は猪名川町に位置しないので、「付近」と表記した。なお、上杉尾根は大阪府と兵庫県の境界に近い場所である。

今後、兵庫県下から得られる可能性のある種

今回、記録を確認できなかったが、今後兵庫県から見つかる可能性のあるホソカタムシ類を下に示す。

- ムキヒゲホソカタムシ科 Bothrideridae Erichson, 1845
- 1. イチハシホソカタムシ *Antibothrus ichihashii* Narukawa, 2002
三重県・奈良県などに分布するホソカタムシで、奈良県ではイチイガシやカゴノキの落枝を叩いて得られたことがあるという(青木, 2012)。筆者は未採集であるが、兵庫県でも、イチイガシの生えている地域を重点的に調査すれば、得られる可能性はあるかもしれない。
- 2. タナカミスジホソカタムシ *Leptoglyphus tanakai* Aoki, 2011
本州に分布するホソカタムシで、奈良県・京都府・広島県で得られたとの情報があり(青木, 2012)、兵庫県から得られる可能性もあると思われる。
- アトコブゴミムシダマシ科 Zopheridae Solier, 1834
- 1. ダルマチビホソカタムシ *Pseudotarphius lewisii* Wollaston, 1873
本種は南の島に分布の中心があるようだが、本州では岡山県・広島県などで見つかっており(青木, 2013)、兵庫県からも見つかる可能性はあると思われる。筆者は京都府瓜生山のふもとで本種を得ている。
- 2. ナガヒラタホソカタムシ *Synchita angustissima* (Nakane, 1963)
青木(2012)によれば、海岸の松の落枝から得られたことがあるようである。もっとも、青木(2013)によれば比較的内地部からも見つかるようである。筆者は未採集であるが、自然度の高い海岸の松の落枝などをビーティングすれば、兵庫県下からも見つかるかもしれない。

おわりに

兵庫県産ホソカタムシのリスト化を行った。兵庫県産のホソカタムシ類は、少なくとも計28種が確認されていることが明らかに

なった。青木淳一著「ホソカタムシの誘惑 第2版」が出版された2013年頃には、兵庫県産のホソカタムシ類は11種とされていたので、兵庫県のホソカタムシ相の解明度は大きく向上したと言える。しかし、まだ新たな種が発見される可能性もあるため、今後も継続した調査が必要である。

謝 辞

本報告の執筆にあたって、文献の入手では池田 大氏および阪上洸多氏にお世話になった。また、田中 勇氏および齋藤琢巳氏には、兵庫県で記録の少ないホソカタムシ類のデータについてご教示いただいた。また、杉本眞次氏には兵庫県で記録の少ないホソカタムシを採集していただき、齋藤琢巳氏を通してデータを提供していただいた。未筆ながら、この場を借りて厚くお礼申し上げる。

利益相反

本研究を実施するにあたり、特定企業との利害関係はありません。

引用文献

- Aoki, J. (2009) A New Species of the Genus *Antibothrus* (Coleoptera, Bothriideridae) from the Amami Islands of Japan. *Elytra Tokyo*, 37(2), 291–295.
- 青木淳一 (2009a) 図鑑に載っていない日本産ホソカタムシ. 神奈川虫報, 165, 1–15.
- 青木淳一 (2009b) ホソカタムシの誘惑—日本産ホソカタムシ全種の図説. 東海大学出版会, 平塚.
- 青木淳一 (2012) 日本産ホソカタムシ類図説 ムキヒゲホソカタムシ科・コブゴミシダマシ科. 昆虫文献六本脚, 東京.
- 青木淳一 (2013) ホソカタムシの誘惑—日本産ホソカタムシ全種の図説(第2版). 東海大学出版会, 平塚.
- 青木淳一 (2017) いわゆるホソカタムシ類の所属変更と新しい種リスト. さやばねニューシリーズ, 28, 1–9.
- 檀野将平 (2022) 兵庫県姫路市南部で採集した甲虫類の記録. きべりはむし, 45(1), 3–65.
- 独立行政法人 森林総合研究所 (2007) サビマダラオオホソカタムシを利用したマツノマダラカミキリ防除技術の開発. 森林総合研究所交付金プロジェクト研究成果集, 16, 1–70.
- 兵庫昆虫同好会事務局(編) (2001) 多可郡の甲虫相 故高橋寿郎氏遺稿集 No. 9. きべりはむし, 29(1), 10–27.
- 岩田久二雄・奥谷禎一・永富 昭・中根猛彦 (1953) 氷の山の昆虫. 兵庫生物, 2(3), 121–125.
- 松尾隆人 (2003) 多可郡中町の自宅灯火で得た甲虫. きべりはむし, 31(1), 46–51.
- 内藤隆夫 (2000) 兵庫県で採集した甲虫類の記録. きべりはむし, 28(2), 77–82.
- 内藤隆夫 (2002a) 兵庫県で採集した甲虫類の記録(2). きべりはむし, 30(1), 65–69.
- 内藤隆夫 (2002b) 淡路島産甲虫の記録. きべりはむし, 30(1), 70–72.
- 中根猛彦(監修) (1956) 原色日本昆虫図鑑(上)・甲虫編 増補改訂版. 保育社, 大阪.
- 仲田元亮 (1979a) 「能勢の昆虫」その後(1). きべりはむし, 7(1), 15–19.
- 仲田元亮 (1979b) 「能勢の昆虫」その後(2). きべりはむし, 7(2), 16–28.
- 仲田元亮 (1982) 増補改訂 能勢の昆虫 甲虫の部 下巻. 阪堺出版, 大阪.
- 生川展行・田中 勇 (2004) 興味深いムキヒゲホソカタムシ 3 種の記録. わじればね, 109, 19–20.
- 大貝秀雄 (2018) 兵庫県赤穂郡上郡町の住宅団地内 1 区画における昆虫相. 播磨長翅目研究センター, 上郡.
- 齋藤琢巳 (2016) 近畿地方におけるヒゴホソカタムシの追加記録. 月刊むし, 544, 55–56.
- 齋藤琢巳 (2017) 兵庫県下におけるチビヒメヒラタホソカタムシの記録. 月刊むし, 551, 56–57.
- 齋藤琢巳 (2018) ツチホソカタムシの本州からの記録. 月刊むし, 564, 47–48.
- 佐々治寛之 (1985) ホソカタムシ科. 黒澤良彦・久松定成・佐々治寛之(編著), 原色日本甲虫図鑑 (III). 保育社, 大阪, pp. 290–295.
- 新宮町自然調査団 (1999) 新宮町自然調査報告 1 新宮の自然. 新宮町教育委員会, 新宮.
- 高橋寿郎 (1981) 兵庫県甲虫相資料・96. きべりはむし, 9(2), 27–31.
- 高橋寿郎 (1994) ヒトクチャケとキカイガラタケおよび各種キノコにて採集した甲虫(兵庫県甲虫相資料・293). IRATSUME, 18, 65–73.
- 宝塚市 (1993) 宝塚の昆虫IV 甲虫目 (II). 宝塚市教育委員会, 宝塚.
- 宝塚市 (1994) 宝塚の昆虫 VII ハチ・アリ・ノミ(補遺). 宝塚市教育委員会, 宝塚.
- 宇野宏樹 (2021) 宝塚市の緑地公園の昆虫相—2010年～2020年の昆虫の記録—. きべりはむし, 44(1), 9–25.
- 宇野宏樹 (2022) 簡易な昆虫標本撮影台の作り方とその使用方法について. ニッチェ・ライフ, 10, 6–9.
- 八木 剛・中西明德・稲畑憲昭・杉野広一・植田義輔・勝又千寿代・木全俊明・古賀督尉・高島 昭・谷口登志夫・中濱春樹・福島秀毅・水野辰彦・森脇竹男・山崎敏雄・吉田 武 (2003) 砥峰高原の昆虫相—2002年の昆虫調査から—(第一部). きべりはむし, 31(1), 1–46.
- 山本義丸 (1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録. 兵庫県立柏原高校生物研究会 NATURA 特別号. 氷上の自然第3集. 兵庫県立柏原高等学校生物教室, 丹波.
- 吉田貴大 (2007) ケヤキの樹皮下にて越冬する昆虫達. 共生のひろば, 2, 50–53.